Pit-2Gシリーズ用オプション

自立スタンド　EVPX-ST2A

施工説明書

Ver.01

ご採用いただきありがとうございます。施工前にこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
施工後は、所定欄に施工業者名を記入の上、お客様にお渡しください。

目次

安全上のご注意 ……	1頁	■施工方法 ……	5頁
■施工上のご注意 ……	1頁	■2台目を取り付ける場合 ……	8頁
■その他のご注意 ……	2頁	■露出配管する場合 ……	9頁
■各部の名称 ……	2頁	■コネクターホルダーの取付 ……	10頁
■仕様 ……	2頁	■オプション ……	11頁
■外形寸法 ……	2頁		
■設置例 ……	3頁	お問合わせ先 ……	12頁
■設置場所・施工に関するご注意 ……	3頁		
■周囲離隔 ……	4頁		
■付属品 ……	4頁		
■施工者様にご用意いただくもの ……	4頁		

安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

⚠ 警告	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
⚠ 注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況 および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

⚠ 注意する

🚫 してはいけない

❗ 必ず守る

■施工上のご注意

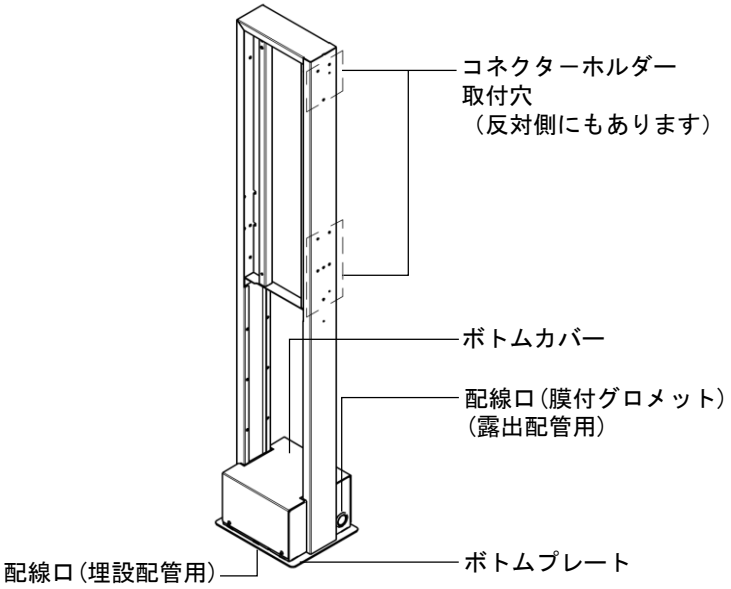
⚠ 警告			
🚫	可燃性ガス、腐食性ガス、じんあい、引火物の近くに設置しないでください。感電、火災、故障の原因となります。	❗	車両が通るところに設置する場合は、必ず防護柵や車止めなどを設置して、車両と衝突しないようにしてください。

⚠ 注意			
❗	工事作業中は、手袋などの保護具を着用してください。けがをする原因となります。	❗	運搬、設置の際は、周囲の安全を十分確認してください。 落下、転倒によるけがの原因となります。
⚠	直射日光により、表面が高温になるおそれがあります。炎天下での使用の際はご注意ください。		十分な強度のある平らな面に設置・固定してください。強度が十分でない場合や、傾いた状態で設置した場合、製品が転倒し故障やけがの原因になります。
🚫	上に乗ったり、もたれたりしないでください。破損し、事故につながるおそれがあります。		電源線、可とう管などは電気定格を確認した上、設置環境に応じ適切なものを選定してください。

■その他のご注意

・本製品には、壁掛けタイプのPit-2Gシリーズの充電器を自立設置するためのスタンドです。充電器は別売になります。
・スタンド1台につき、充電器を最大2台取り付けることができます。（前後に各1台取付可能）
・充電器を2台取り付ける可能性がある場合は、あらかじめ2台分の先行配管が必要です。
・積雪時は除雪してください。
・植栽などの土がかからないようにしてください。

■各部の名称



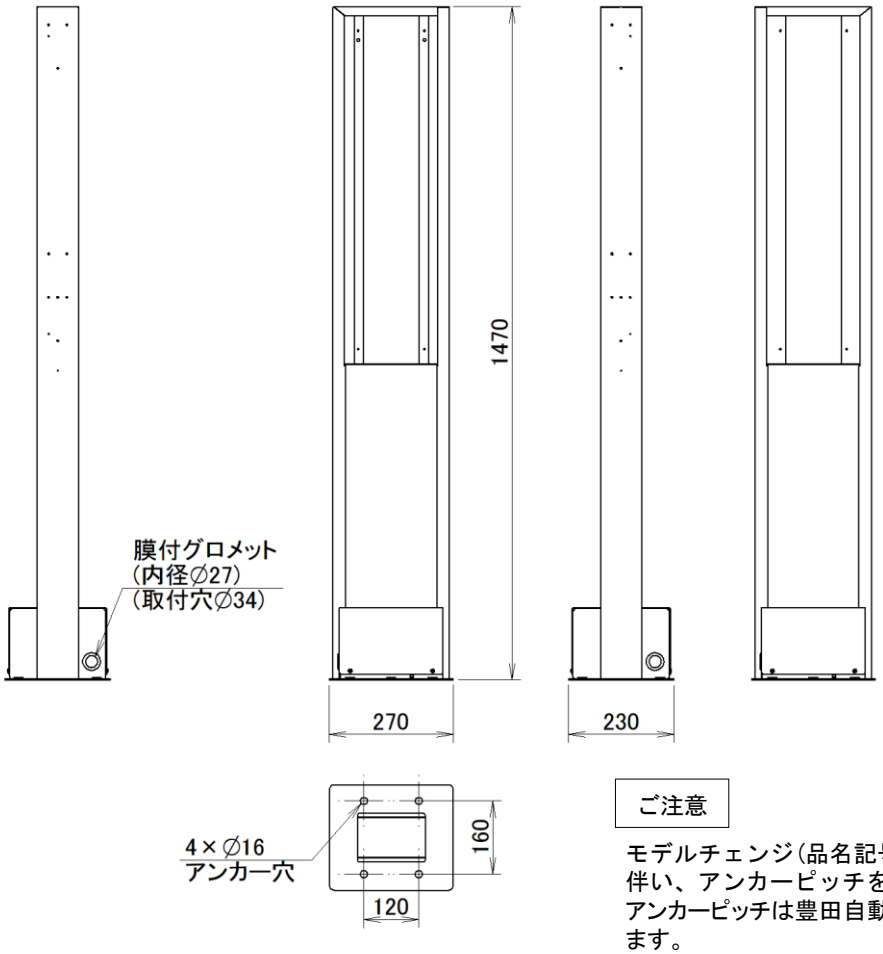
■仕様

項目	仕　　様
外形寸法（W×H×D）	270㎜×1470㎜×230㎜
質量	約12kg
材質	ステンレス
塗装色	ブラック塗装(N1)
設置環境	屋内および屋外

※電源線の引き込みは、埋設・露出いずれも可能です。

■外形寸法

（単位：㎜）



ご注意

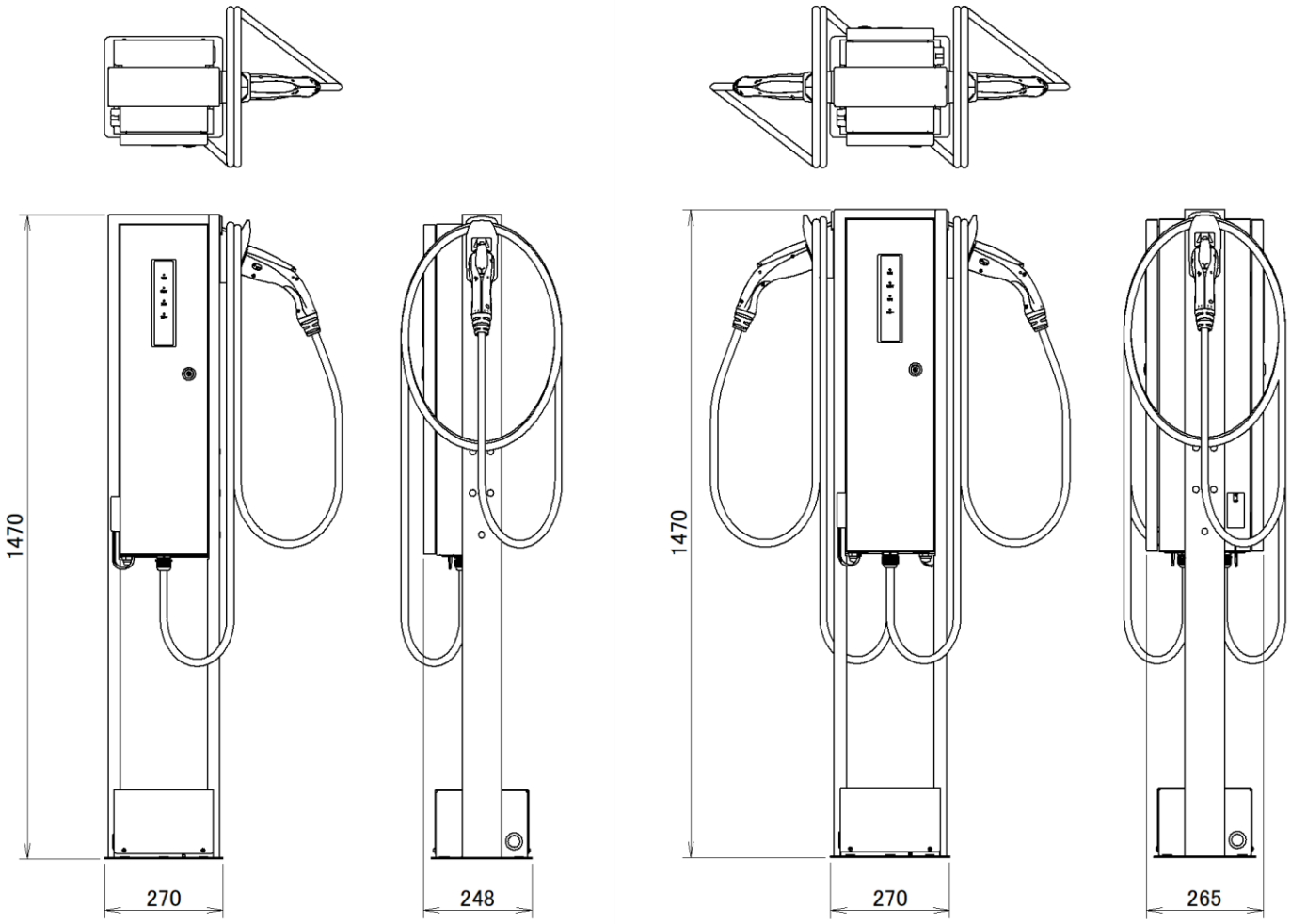
モデルチェンジ(品名記号：旧 EVPX-ST2→新 EVPX-ST2A)に伴い、アンカーピッチを変更しています。
アンカーピッチは豊田自動織機製EVCシリーズと共通になっています。

■設置例

●1台取付の場合

●2台取付の場合

（単位：mm）

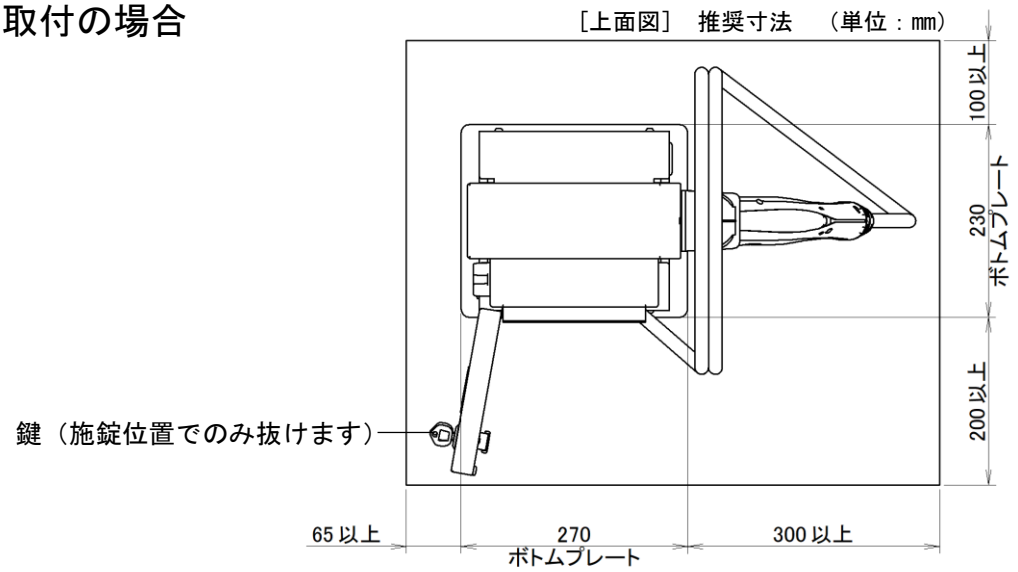


■設置場所・施工に関するご注意

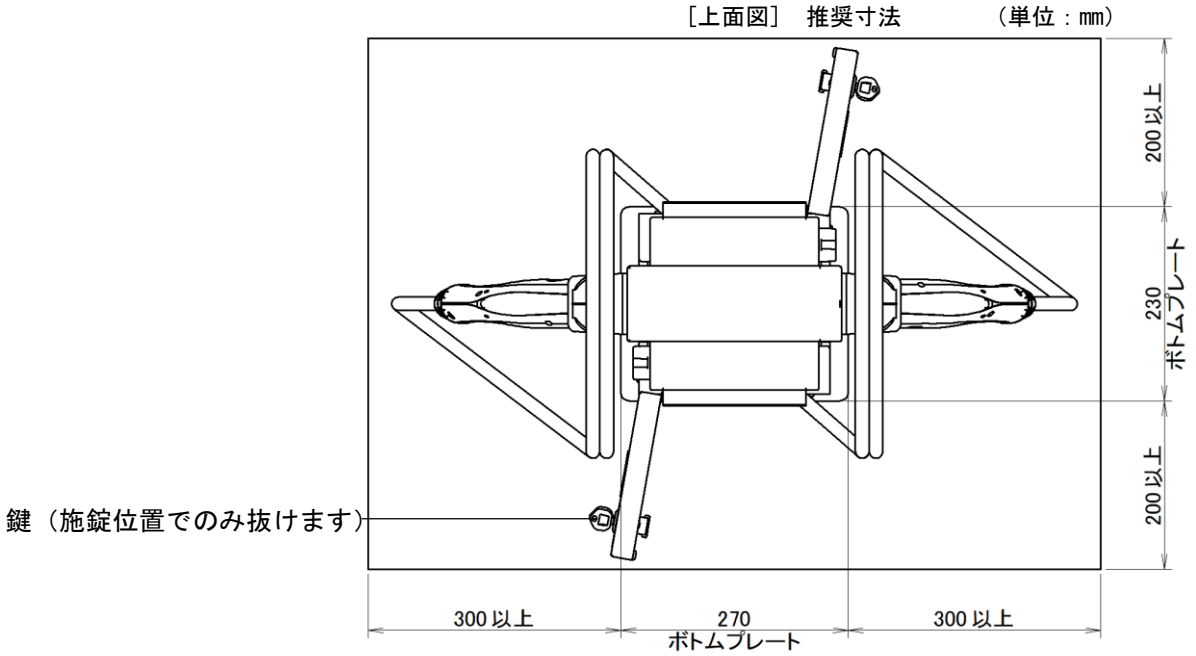
・充電コネクターが車両に無理なく接続できる場所に、設置してください。
・ぶつかったり、つまずいたり、通行などの妨げにならないよう周囲の状況に十分配慮して設置してください。
・据付面との間に、異物を挟まないように注意してください。
・電源線、可とう管等は電気定格を確認した上、設置環境に応じ適切なものを選定してください。
・内部配線に干渉しないように電線を収納してください。
・電源線は、張力のかからないように余裕を持って配線してください。
・配線口は配線作業終了後、適切な防水処理を行ってください。
・保守、点検のために製品周囲にスペースを開けて設置してください。

■周囲離隔

●1台取付の場合



●2台取付の場合



■付属品

部品名	施工説明書（本紙）	取付ねじ（充電器用・コネクターホルダー取付用）M5×10SUS	防水ワッシャー（充電器取付ねじ用）SUS	角座金（SUS）アンカー用	アース線	結束バンド	ねじ穴用シール※
数量	1部	14コ	8コ(2台分)	4コ	2本(2台分)	6コ	20コ

※ねじ穴用シールは、コネクターホルダーおよび充電器の取り付けに使用してない穴の目隠しとして使うものです。（10頁）

■施工者様にご用意いただくもの

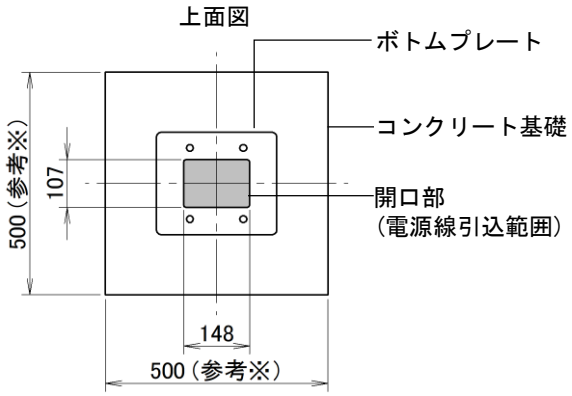
電源線および接地線	×3本（推奨電線サイズは**充電器の取扱説明書●電気的特性**参照） CVケーブル等をご使用ください。
アンカーボルト	M12×4コ ※ステンレス製のアンカーボルト推奨、ナット、ワッシャー
電源線保護管	呼び28×1本 ※露出配管する場合にご用意ください。 ※2台取り付ける場合は、合計2本必要になります。

■施工方法

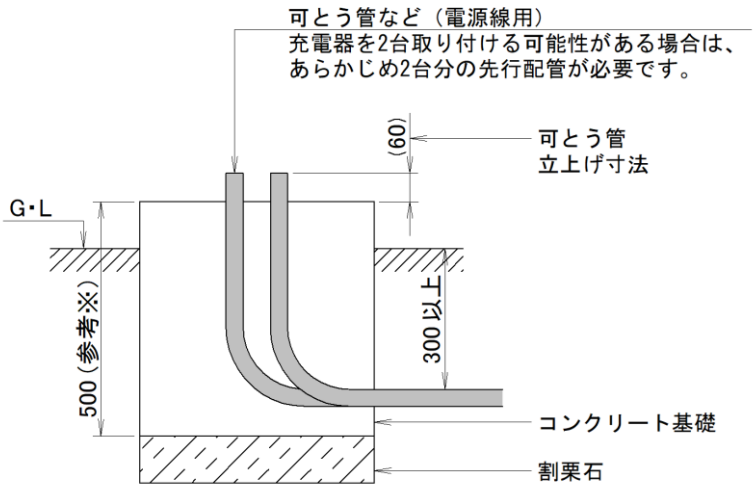
1．基礎工事・可とう管の準備

① 掘削、先行配管を行い基礎工事を行ってください。
コンクリート打設後、強度に必要な養生期間を確保してください。

可とう管は電源線引込範囲内で立ち上げてください。



（埋設配管の場合）



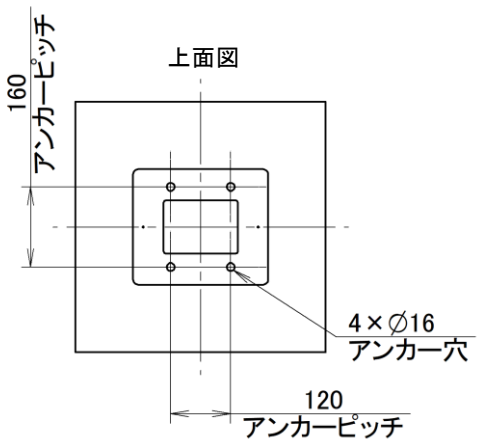
ご注意　地中埋設工事の配線は、JIS・内線規程にしたがって施工してください。

※基礎寸法について
図示した寸法は仮定条件で算出した目安であり、指定するものではありません。舗装の有無や、周辺土壌・地盤のかたさなど、現場によって条件が異なるため、必要十分な強度での施工を現場判断にてお願いします。
＜仮定条件＞コンクリート強度160kgf/cm²以上、周辺土壌のかたさ等は考慮せず、風速40m/s時の転倒モーメントを計算し、安全率2以上を確保できる質量の参考寸法。

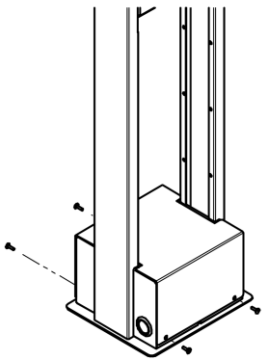
② 右図の位置にM12のアンカーボルトを4カ所設置してください。
ステンレス製アンカーボルトを推奨します。

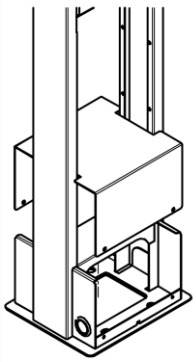
ご注意

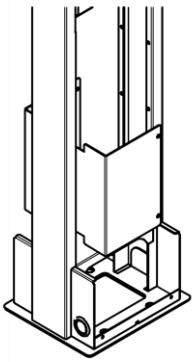
・十分な強度のある平らな面に設置・固定してください。
強度が十分でない場合や、傾いた状態で設置した場合、
製品が転倒し故障やけがの原因になります。
・アンカーボルト施工は、アンカーボルトの説明書に
従ってください・

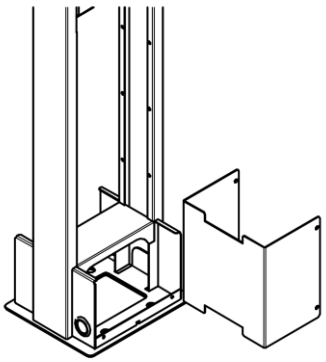


2．ボトムカバーの取り外し


ねじ4カ所を取り外す

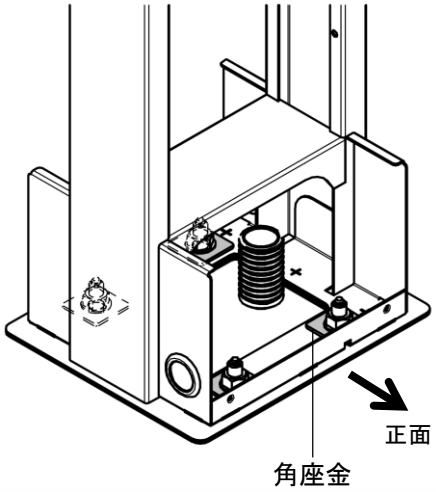

ボトムカバーを上に上げる


ボトムカバーを回転させる


ボトムカバーを手前にずらして取り外す

3．自立スタンドの取付

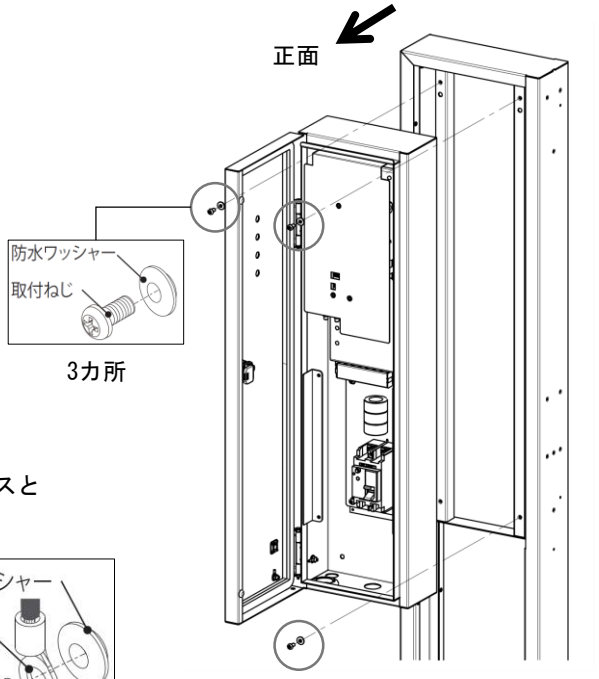
① 自立スタンドをアンカーボルトに据付、付属の角座金を使用し、
M12ナット・ワッシャー（市販品）で固定してください。



4．充電器の取付

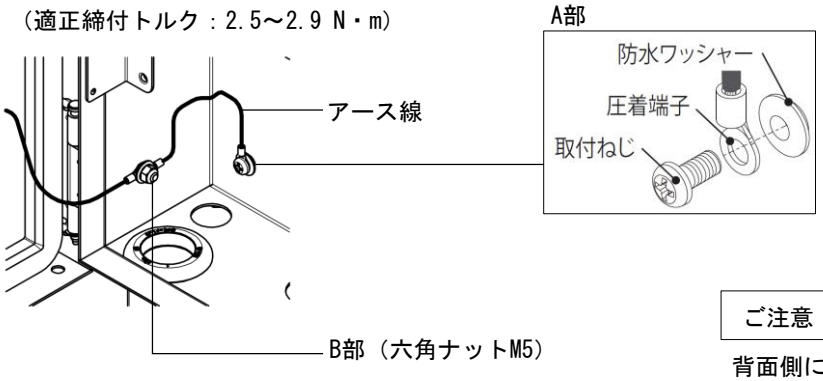
① 充電器の取扱説明書の「1.壁面へ取付け　①～③」を参照して
保護板(下）を取り外してください。

② 自立スタンドに充電器を取り付けます。
まず上2カ所、右下1カ所を自立スタンドに付属のねじと防水
ワッシャーで取り付けてください。
（適正締付トルク：2.5～2.9 N・m）



③ 左下1カ所は、自立スタンドに付属のアース線を挟み込み、
取付ねじと防水ワッシャーで取り付けてください。（A部）

もう片方は充電器ボデーに取り付けてください。
六角ナットM5を取り外し、充電器のドアとボデーの渡りハーネスと
共締めしてください。（B部）
（適正締付トルク：2.5～2.9 N・m）



ご注意

背面側にもう1台取り付ける場合は8頁参照。

5．充電ケーブルの接続

① 充電器の取扱説明書の「3.充電ケーブルの接続」を参照してください。

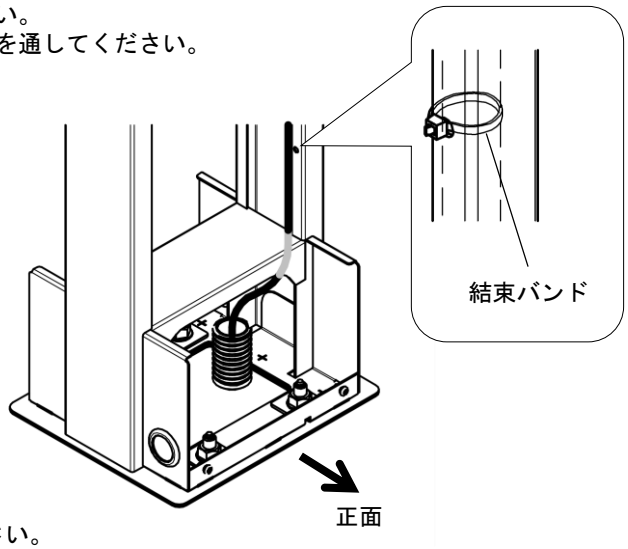
6. 電源線の接続

①電源線を自立スタンドの右側面を通るように引出してください。
充電器の底面右側のグロメットを切り破り、電源線・接地線を通してください。

充電器の電源線・接地線の通線部および可とう管などの
端部にはパテ埋めなど適切な防水処理をしてください。
電源線・接地線を結束バンドで固定できるように
自立スタンドに丸穴があいています。

ご注意

充電器を2台取り付ける可能性がある場合は、あらかじめ
2台分の先行配管が必要です。



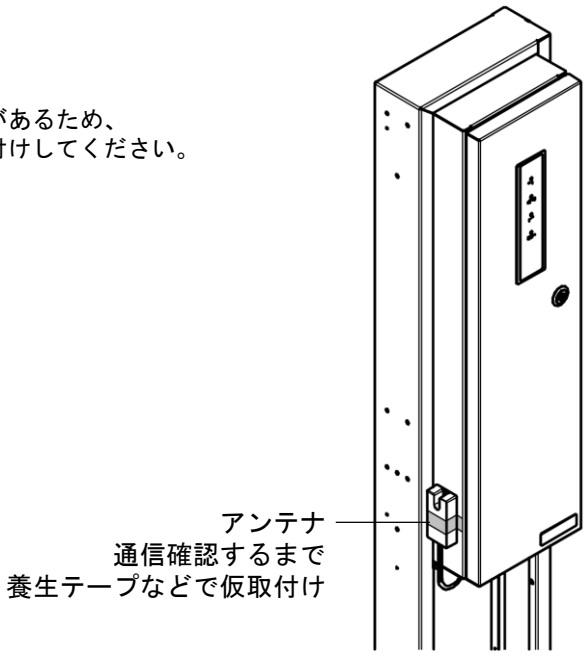
② 電源線・接地線を接続してください。
充電器の取扱説明書の「4.電源線の接続」を参照してください。

③ ボトムカバーを元に戻してください。
（適正締付トルク：2～3 N・m）

7. アンテナの接続 通信モデル（アンテナあり）

①アンテナを接続してください。
充電器の取扱説明書の「5.アンテナの接続　①」を参照してください。

② アンテナを仮取付けしてください。
電波状況によってアンテナの位置を調整する場合があるため、
アンテナを養生テープなどで設置予定場所に仮取付けしてください。



本体への仮取付例

8. 起動確認

充電器の取扱説明書の「6.起動確認」を参照してください。

9. 通信確認 通信モデル（アンテナあり）

充電器の取扱説明書の「7.通信確認」を参照してください。

10. 仕上げ

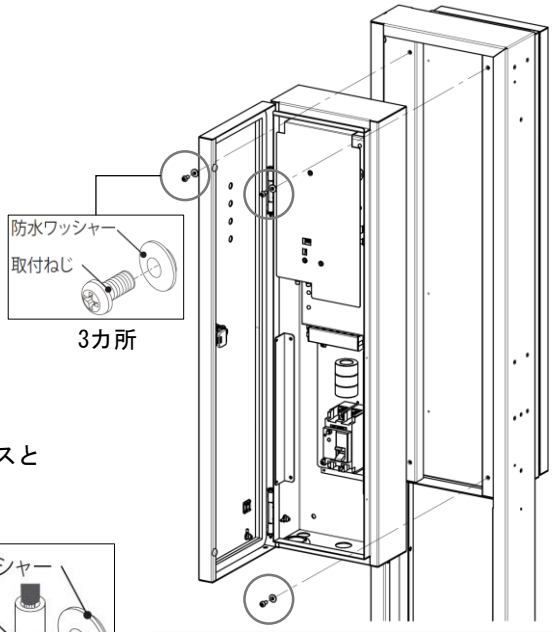
充電器の取扱説明書の「8.仕上げ」を参照してください。

■2台目を取り付ける場合

1.充電器の取付

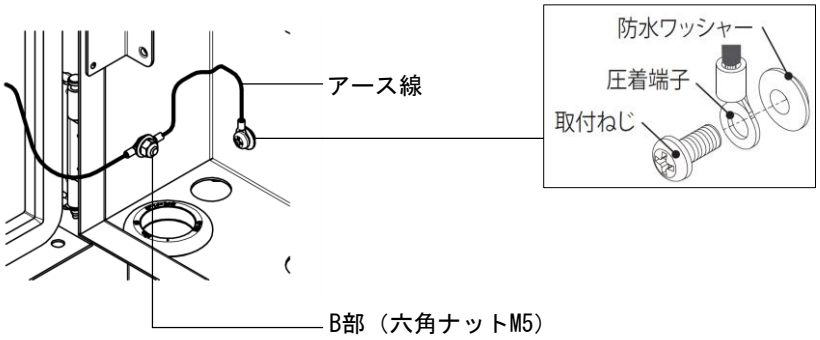
① 充電器の取扱説明書の「1.壁面へ取付け　①～③」を参照して
保護板(下) を取り外してください。

② 自立スタンドの背面側に充電器を取り付けます。
まず上2カ所、右下1カ所を自立スタンドに付属のねじと防水
ワッシャーで取り付けてください。
(適正締付トルク：2.5～2.9 N・m)



③ 左下1カ所は、自立スタンドに付属のアース線を挟み込み、
取付ねじと防水ワッシャーで取付けてください。（A部）

もう片方は充電器ボデーに取り付けてください。
六角ナットM5を取り外し、充電器のドアとボデーの渡りハーネスと
共締めしてください。（B部）
(適正締付トルク：2.5～2.9 N・m)



2.充電ケーブルの接続

① 充電器の取扱説明書の「3.充電ケーブルの接続」を参照してください。

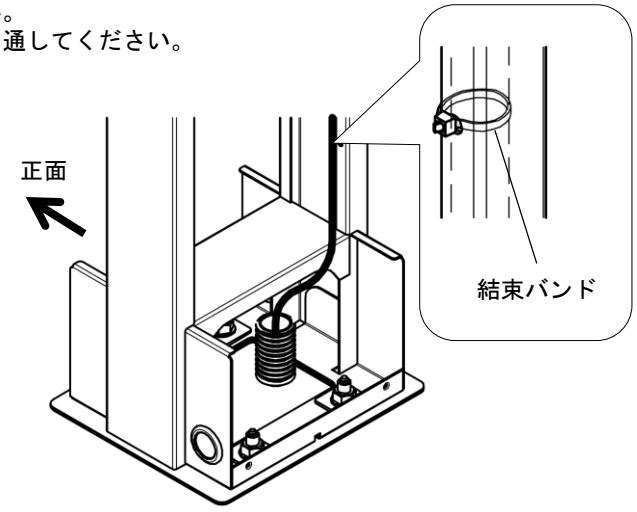
3.電源線の接続

① 電源線を自立スタンドの右側面を通るように引出してください。
充電器の底面右側のグロメットを切り破り、電源線・接地線を通してください。

充電器の電源線・接地線の通線部および可とう管などの
端部にはパテ埋めなど適切な防水処理をしてください。
電源線・接地線を結束バンドで固定できるように
自立スタンドに丸穴があいています。

ご注意

充電器を2台取り付ける可能性がある場合は、あらかじめ
2台分の先行配管が必要です。



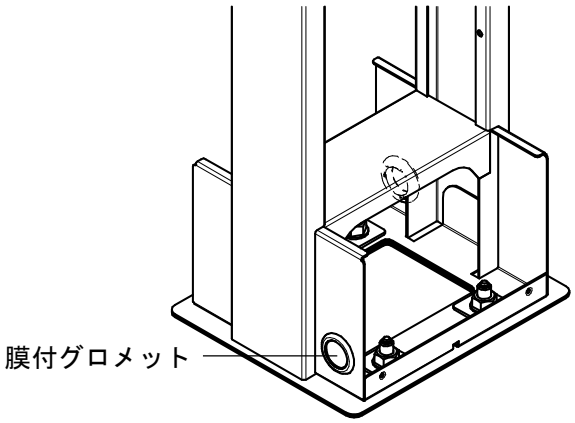
② 電源線・接地線を接続してください。
充電器の取扱説明書の「4.電源線の接続」を参照してください。

③ ボトムカバーを元に戻してください。
(適正締付トルク：2～3 N・m)

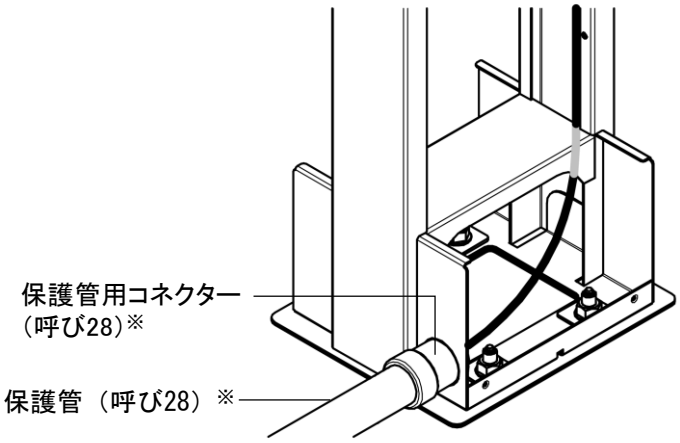
このあとは、■施工方法の「７．アンテナの接続」から行ってください。

■露出配管する場合

①膜付グロメットを取り外します。



②可とう管が接続できる市販の保護管用コネクターを用意し取り付け、保護管を接続し、電源線・接地線を通してください。



※施工者様ご用意品

ご注意 充電器を2台取り付ける場合は、対角線上の膜付グロメットを取り外し、同じように配管を接続して配線してください。

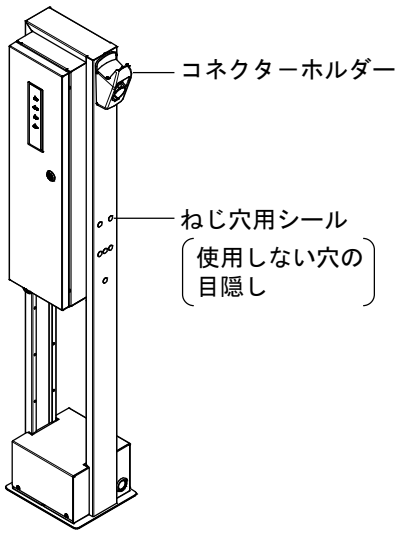
■コネクターホルダーの取付

・充電器に付属のコネクターホルダーは、自立スタンドに付属のねじで側面に取り付けることができます。
・コネクターホルダーは設置場所に応じて選択して取り付けることができます。
・コネクターホルダーの取り付けに使用しなかった穴は、付属のねじ穴用シールを貼付けてください。

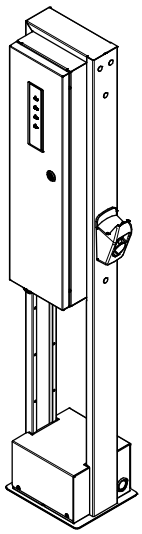
ご注意 コネクターホルダーの取付方法は、充電器の取扱説明書をご確認ください。

［取付例］

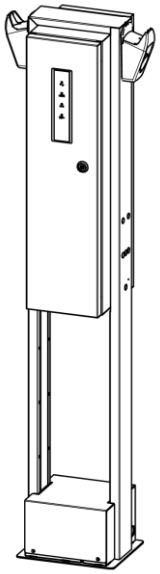
●1台取付の場合



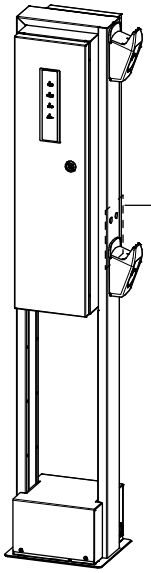
（低い位置に取り付けたい場合）



●2台取付の場合



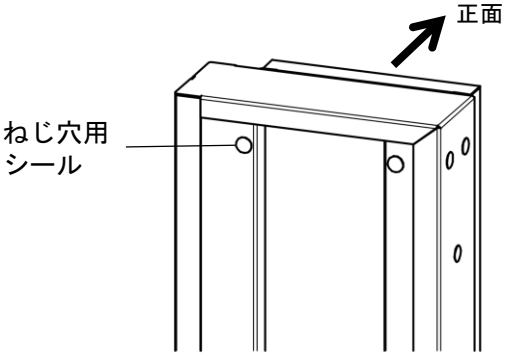
（片側に2個取り付けたい場合）



真ん中に取り付けるとケーブルが掛けにくくなるため、一番下の位置にコネクターホルダーを取り付けてください。

ご注意
長いケーブルをお使いの場合、お互いのケーブルがからみやすくなりますのでご注意ください。

・1台のみ取り付けの場合は、背面側の充電器取付穴にも同様にねじ穴用シールを貼付けてください。



ご注意 本製品には背面カバーはありません。

■オプション

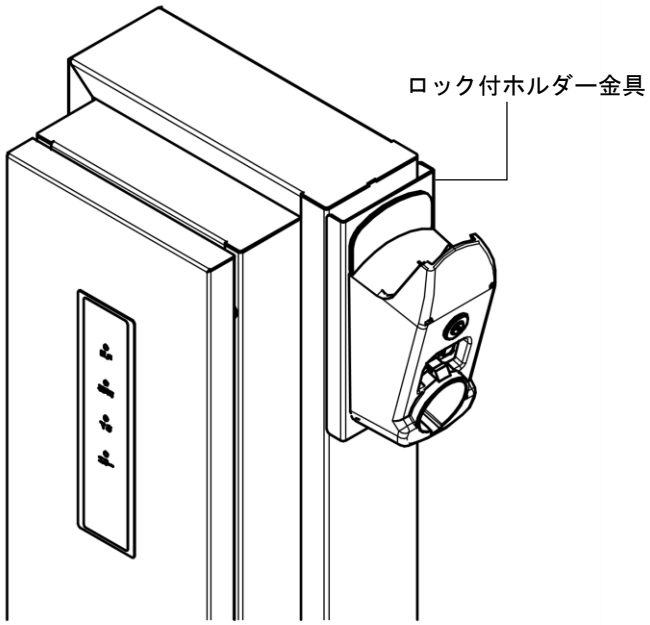
●ロック付ホルダー金具（EVPX-L）（別売）

充電器に標準で付属されているコネクターホルダーでは、鍵をかけて充電コネクターをロックすることはできません。
ロックしたい場合は、ロック付のコネクターホルダーに変更する必要がありますが、ロック無しとロック付の
コネクターホルダーでは取付穴の位置が異なるため、自立スタンドと組み合わせて使う場合は、別売りのロック付ホルダー
金具(EVPX-L)を使って取り付けます。

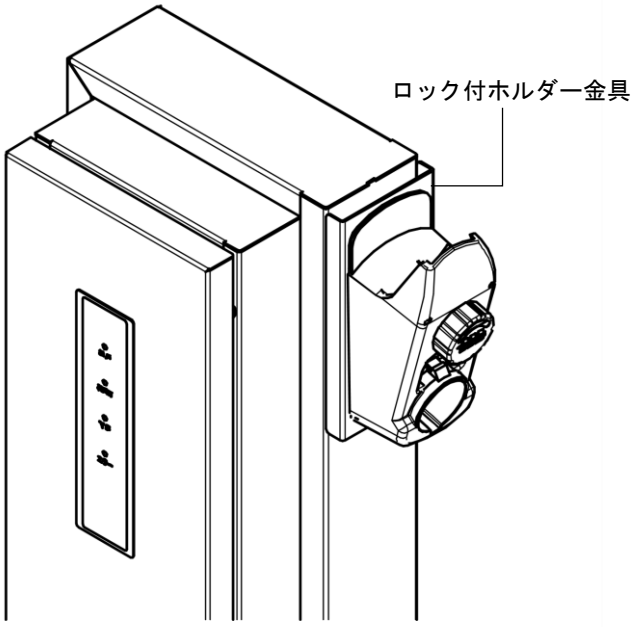
ご注意

・ロック付ホルダー金具には、ロック付コネクターホルダーは付属されておりません。別途ご用意ください。
・ロック付コネクターホルダー
　タキゲン製造株式会社　　CP-458-C（鍵タイプ）
　　CP-458-D（ダイヤル錠タイプ）

（鍵タイプ）



（ダイヤル錠タイプ）



お問合わせ先

本製品についてご不明な点は

EVインフラ事業室マーケティング課

ev.contactnet.mark@nito.co.jp

TEL(0561)64-0250

弊社製品全般についてのお問合わせは

お客様相談室

TEL(0561)64-0152

施工業者名

TEL

施工年月日　　年　　月　　日

・お客様からご提供いただいた個人情報は、商品の修理やご相談への対応、および情報の提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、グループ各社と共同で利用させていただく場合があります。
・個人情報はあらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に提供することはいたしません。

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2022年8月
B200241900

NITTO KOGYO

©NITTO KOGYO CORPORATION

日東工業株式会社
〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地